

感染性胃腸炎対応に係るチェックリスト 【障害者・高齢者施設】

○：十分（はい），×：不十分（いいえ）

1 利用者の健康管理，有症状時の対応状況	評価	備考
(1) 平常時の検温など健康状態を把握している		
(2) 有症状者の状況を把握している		
(3) 有症状者の状況を嘱託医へ報告し，指示を受けてる		
(4) 有症状者の早期受診の勧奨をしている		
(5) 有症状者を隔離している		
(6) 集団活動（行事，通所サービス利用等）を延期または中止している		
2 職員の健康管理，有症状時の対応状況	評価	備考
(1) 職員全員の検温など健康状態を把握している		
(2) 職員の手洗いは，日ごろから徹底している		
(3) 有症状者が発生した場合，普段以上の手洗いを実施している		
(4) 症状がある職員は，食品を扱う業務をしていない		
(5) 職員の家族に症状が出た場合の対応はできている		
※ タオルの共用はしない等家族内感染の防止		
3 利用者の手洗い方法	評価	備考
(1) 液体石けんを使用している ※ 固形石けんは，液体石けんに比べ，石けんの周りにウイルスや細菌が付着しやすいです。 固形石けんを使う場合は，ネットに入れずに使用後は水で洗い，よく乾燥させましょう。		
(2) ペーパータオルまたは個人タオルを使用し，タオルは共有していない		
(3) 外出後，排泄後，調理や食事前に手洗いを実施している		
4 職員の手洗い方法	評価	備考
(1) 液体石けんを使用している		
(2) 1ケア1手洗いができている		
(3) 職員の手洗いの方法は適切である ※ 爪を短く切る，指輪・腕時計を外す 指先・指間の隅々までこすり洗いし30秒以上水で洗い流す		
(4) ペーパータオルまたは個人タオルを試用し，タオルは共有していない		
(5) 外出後，排泄後，調理や食事前に手洗いを実施している		
5 排泄物処理の方法	評価	備考
(1) 手袋を使用している		
(2) 一回ごとに手袋を交換している		
(3) 手袋をはずした後の手洗いができている		
(4) エプロンを使用している		
(5) マスクを使用している		
(6) 上記物品は専用の袋に入れ適切に廃棄している		

6 嘔吐物処理の方法		評価	備考
(1) 手袋を使用している			
(2) 一回ごとに手袋を交換している			
(3) 手袋をはずした後の手洗いができている			
(4) エプロンを使用している			
(5) マスクを使用している			
(6) 上記物品は専用の袋に入れ適切に廃棄している			
(7) 汚染区域を設定し、他の利用者が近づかないように制限している			
(8) 嘔吐物の処理が適切にできている			
(9) 嘔吐物処理方法について、職員に十分周知している			
(10) 処理中・処理後は、換気をしている			
(11) 処理用キットを平時から準備している			
7 消毒の実施状況		評価	備考
(1) 次亜塩素酸ナトリウムを使用している			
(2) 次亜塩素酸ナトリウムの商品名 [ハイター・ブリーチ・ピューラックス・ミルトン・その他 ()]			
(3) 消毒液の調製方法は適切である ※嘔吐物等0.1%、調理器具・ドアノブ等0.02%			
(4) 消毒液は必要時作成している (1回/日)			
(5) 嘔吐物等の消毒にアルコールは使用していない ※ ノロウイルスはアルコールによる消毒では効果はほとんど期待できません			
(6) 嘔吐物の汚染区域の消毒を行っている			
(7) 汚染区域がカーペット・畳等の場合も消毒が効果的に実施できている			
(8) 下痢をしたトイレ・ポータブルトイレの消毒が適切にできている ※ 消毒液濃度0.1%。使い捨てマスク、手袋、エプロン着用			
(9) 施設の環境消毒頻度、状況 ()			
8 リネン類の洗濯、消毒		評価	備考
(1) マスク、手袋を着用している ※ 汚物が飛び散る恐れがある時は、さらにエプロン着用			
(2) 汚物が付着したリネン類の消毒・洗濯が適切にできている ※ 消毒濃度0.1%に1時間浸す、又は85℃以上の熱湯に10分浸した後に洗濯			
(3) 汚物が付着したリネン類の取扱方法 ()			
9 換気の実施状況		評価	備考
(1) 一日当たりの換気回数 (日・ 時間 / 回)			
(2) 換気方法 ()			
10 入浴状況		評価	備考
() ※ 有症状者はできる限り控える よく身体を洗う、シャワー浴のみ、回復後もしばらくは入浴順番は最後に			
11 家族等面会状況		評価	備考
()			
12 組織的対応 (職員にどのように伝達されているか等)		評価	備考
()			
13 その他		評価	備考
()			